

いつもありがとうございます。

W26 青果発注書をお送り致しました。

御注文のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

・北海道産 特栽恋するマロン 美味しさの秘密



この畑、500m ほどあるんだそうです。

先週、無限樹の大川社長が名古屋に来られて、

ホテルで 2 時間ほど話しをしました。

500m は無いかも知れないが、400m は優に有るとの事でした。

確かに、向こうの端は見えない。

このビニールの天井を破って歩く作業は、5 人ですと 言っていた。

『**30℃を超えると、南瓜はストレスを抱え、成長が抑制される**』とのこと。

【初期成育】こそ大切なので、天候にも拠ると思うが、

穴空きのビニールを買って、僅か 1 週間から 10 日で、

この作業が入るとの説明をしてくれた。

何故、彼の南瓜は恋するマロンだけではなく、こぶきも美味しいのか、

それをずっと探りたかったのです。

栽培台帳を見ても、特に何か美味しくなりそうな資材を使っている訳でもない。

聞いても、『**特別な事は何もしていない、当たり前のことをしているだけだ**』と言う。



このハウスは、50m のハウスだと思う。
子供の頃なら 6 秒も掛からず、
よういドン で走れた。
こうして苗ポットを並べて行けば、
そんな時間では無理だろう。



この画像には、正直驚いた。
「大丈夫なのか」と思ってしまう。
この画像について、
以下の説明をしてくれた。
『29℃を維持して3日間、発芽させる』
『29℃は、空気温ではなく、
蒸気で維持させる』
とのことでした。

「米の発芽器を使ってんのか」って聞くと、答えは Yes だった。

自分が南瓜の栽培をしていて辿り着いた方法は、種をアルコール資材にひと晩漬ける。

その種を、座布団の上に電気毛布を敷く。

その上にビニールを敷き、更に濡らしたバスタオルを敷く、

其処に、種を並べる。

その上に、また濡れたバスタオル・ビニール・電気毛布の順番で挟む。

そのようにして、36 時間から 48 時間すると、
二枚貝の間から足を出すように、種の合わせ目が割れて、芽を覗かせる。
その芽が出た種を、同じような空中ポットに同じ方向を向かせて、
対角線上に横たわせ、軽く潜らせていた。
栽培の規模は 100 倍ほど違うので、
機械的にやるなら、米の発芽器を使うのは納得できる。

もちろん、光が当たっていないので、発芽した芽はもやしの様な、
この画像通りの色が着いていない状態で上がって来る。
これをハウスに入れて、日光に当てると一気に、一気にと言っても知らなければ
ピンと来ないかもしれないが、1 日で緑色になる。
じゃが芋が緑化するより、はるかに速い。



夏なら、本葉 1 枚半程度で定植をしていたが、
無限樹は双葉に色が着き、
根が鉢の中でまわれば定植をするらしい。
**成長と共に、新たな環境に出来るだけ
段階を追って、馴らせていくことで、
素直に育つのだということだろう。**

で、左の画像のようになる。
この画像は、ビニールの天井を空けた時の画像。
葉のサイズの割に、背が低い印象を持っている。



この左画像は、随分昔だが、
想像していたより、弱々しくてびっくりした。
初期成育に窒素を効かすことを拒んでいるように見えた。
後追いで行くのかと思ったが、
改めて調べてみると、栽培台帳には何故か追肥が無い。
窒素分は、元肥の 12kg だけだった。

地力があればという事なのかな。

美味しさの秘密の一端は見えだが、相変わらずベールに包まれている。

見えた一反とは『**手間を惜しまず**』とでも言えればいいのかな。

たかだか、ひとが作った作物を売る商売だが、

『美味しい』『価格が高い』『でも売れる』だけで、終われない商売でもある。

西に船を進ませれば、アメリカ大陸に行き着くだけの事ではあるが、

行き着いたことに価値を見出すなら、

人が把握しないところまで、把握をして初めて価値が生まれるような気がする。

何処どこで、たくさん売れているからという理由ではなく、自分で売れる商品を見出してこそ、

この商売の醍醐味は感じられる。

儲けさせてもくれる。

この仕事を始めて 15 年ほどしたある日、貴重な時間を費やして自分は何をしてんだらうと

自嘲気味に思ったことがあるが、

更に 15 年ほど経過した今、その自嘲から逃れることが出来始めた。

捨てられる神もいれば、拾ってくれる神もいるのかも知れない。

いつ落ちて来てもパクつけるように、棚の下に我慢強くいれば、

牡丹餅は勝手に口に飛び込んで来てくれるのかも知れない。

疲れることは確かだが……

・宮崎県 特別栽培 風土の土付きらっきょう

今シーズンの取扱が遂に終了となりました。

沢山の御注文を頂き、誠にありがとうございました。

年明けからアピールを始め、満を持してのスタートでしたが、

スタート直後から長雨の影響により、皆さまにはたくさんのご迷惑をお掛け致しました。

いくら天災とはいえ、次シーズンまでの課題として捉え、解決できるよう進めていきます。

是非、来シーズンもまた沢山の御注文をお待ちしております。

・恋するマロン南瓜

アルファアの看板商品のひとつ！

恋するマロンを取扱初めてから、10 数年が経っていますが、人気は衰えることはなく、

今年もまた九州スタートまでに沢山の取り合わせがありました。

本来は 4-5 玉が中心と比較的大玉傾向が特徴の恋するマロンという品種ですが、

南瓜もまた雨の影響が大きい為か 6-7 玉の比較的小玉が中心サイズとなっているようです。

一般的には 1/4 カットでの販売をすることの多いからか、

6 玉サイズ前後に人気集中しがちです。

しかし、本当に美味しいのは 3 玉など 4 玉の大きいものになります。

ただ、スタッフの方がきっちり 1/4 カットにし難いという理由のみで敬遠されておりますが、

結局は売場でグラム販売になるので選択肢がある方がお客さまには

喜んで貰えるよう思えます。



アルファアが持つ南瓜の産地リレーをしている中でも、

ダントツの味と安定感を持っているのが、

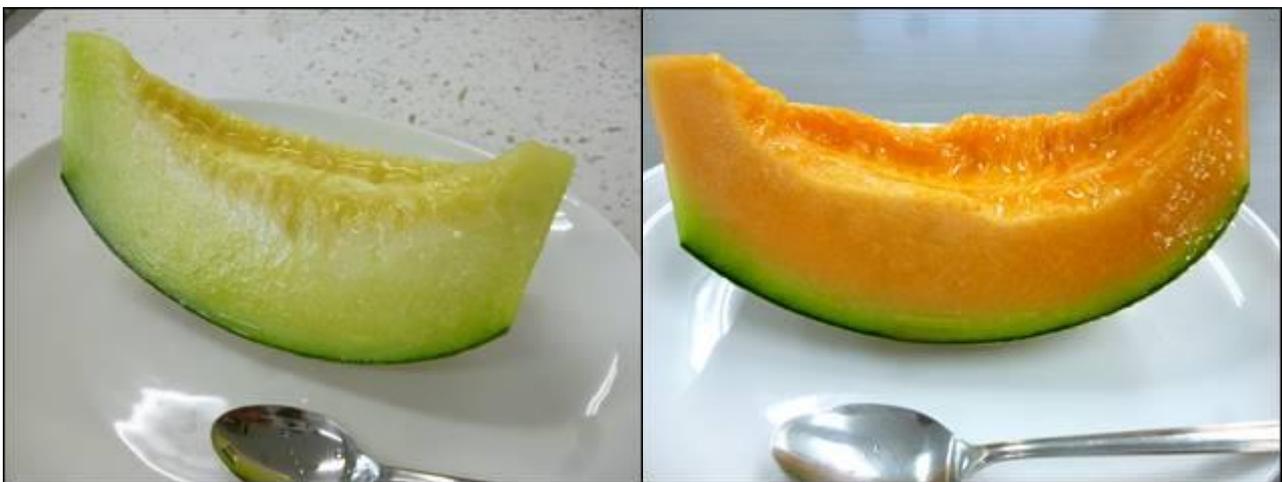
8 月お盆過ぎからスタートを予定している

北海道無限樹になります。

これは土曜日時点での恋するマロンになります。

土曜日に無限樹の代表の大川社長と名古屋で面談していた際に、
今年は土曜日曜が毎週のように雨になっているんだ。と少し嘆いておられましたが、
大川社長の事なので、満足いく味まで確実に仕上げてくるでしょう。
なんせ去年はひと玉で 5 kg 以上のもの栽培してしまうほどの実力を持っているのですから。

美味しいものを作ることが出来る人は、他の作物なんでも美味しく栽培することができます。
7 月半ばになれば、とうもろこしや青肉赤肉のメロンの取扱もスタートします。



昨年のメロンは青肉のノーブルメロンの方が人気が高かったのですが、
多品種取り扱うことで、お客さまに選択肢を増やすことも必要かと思えます。
前にも記事に書きましたが、単品販売とは別に、生産者を売り込む、地域を売り込むことは、
単品での売り込み以上の効果を期待できる企画になります。

・九州のトマト

先週のご案内で熊本県産木下さんのミニトマトがもうしばらく続けられると
お伝えいたしましたが、このところ気温が急上昇した為、
トマトが軟化する障害がでてしまい、今週をもって終了となります。
御注文を頂きました店舗様誠に申し訳ございません。

その他、長崎県のトマト・ミニトマトアイコも同じ症状が出ており、
なんぶトマトは w26 のご案内で終了、なんぶミニトマトアイコは一時的にですが
収穫量が落ちます。

高知県産も一足早く終了となり、現状は熊本県澤村さんと先週よりご案内となりました
奈良県小林さんのみとなります。

天気もあまりよくなく、収穫量も伸びなそうな感じであるため、
満足に対応できないこともあるかもしれませんが宜しくお願い致します。

尚、続く産地としましては、岐阜県奥飛騨清見地域の加藤さんのとまと、
北海道旭川の宮下さん・有機の土居さん、これらの産地が続きます。
特に、宮下正大さんの特裁甘水とまとはお薦めです。
有機で行くならキャリアのある土居さんです。

・新登場

ニュージーランド産レモン(防カビ剤不使用)

長崎県産特別栽培なんぶすいか

・商品変更案内

宮崎県産特別栽培風土の土付きラッキョウ・・・終了

長崎県産特別栽培なんぶとまと・・・終了間近

兵庫県淡路島産特別栽培伊吹さんの白玉ねぎ・・・終了

徳島県産特別栽培野本さんのツルムラサキ・・・一時休止。

曇天により生育不良の為。

兵庫県産養父養生生ニンニク・・・在庫販売

青森県産特別栽培津軽りんごサンふじ・・・36 玉-40 玉終了

兵庫県産あまたまちゃん・・・規格変更。L 2 玉のみ

兵庫県産夏のサラダちゃん・・・規格変更。L 2 玉のみ

長崎県産特別栽培なんぶ新玉ねぎ・・・終了

鹿児島県産特別栽培与論の里芋…終了

熊本県産木下さんのミニトマト…終了

有限会社アルファー

吉田清一郎